



「わだやま竹田」お城まつり

4月9日(日)、第7回朝来市「わだやま竹田」お城まつりが開催され、多くの人で賑わいました。

勇壮な武者行列が竹田のまちを練り歩き、合戦の様子が再現されたほか、竹田駅周辺や虎臥城公園では多くの屋台が並び、虎臥陣太鼓、よさこい踊り、琴と尺八の演奏、大道芸などが披露されました。

また、雛人形や甲冑、竹田の町並み写真などの展示コーナーは、訪れた人の目を引いていました。このほか円山川親水公園では水辺の楽校として、魚のつかみ取りなどが行なわれ、多くの子ども達の歓声が響きました。

生野銀山へいころう祭

4月16日(日)、史跡生野銀山で生野銀山へいころう祭が開催されました。

会場には多くの屋台が並び、沖繩エイサー踊り、太鼓、民謡、大道芸のほか、作家玉岡かおる先生のミニ講演会とサイン会などが行われ、多くの人で賑わいました。

また、シルバー生野支配人とジャンケンで勝負する「ジャンケン選手権大会」が行われ、子どもから大人まで多くの人が参加しました。

へいころう祭恒例の、鉾山で使用されていたトロッコに重りを載せて引つ張り距離を競う「トロッコ力自慢選手権大会」では、

桜まつり

桜花爛漫の4月9日(日)、ヒメハナ公園芝生広場で、山東町観光協会恒例の「桜まつり」が開かれ、200人を超す参加者で賑わいました。

向大道区「宝珠太鼓」の勇壮な演奏がオープニングを飾り、カラオケやビンゴゲームで会場も大いに盛り上がり、多くの笑顔と文化の華が咲いた一日でした。



選手たちは小中学生の部、女性の部、男性の部に別れ、観客の歓声を受けながら奮闘しました。

また、この日は、史跡生野銀山が入場者500万人を達成し、500万人目となった高砂市から訪れた方には花束と記念品が贈られました。